

「石炭・化石館 ほるる」

炭坑夫

その妻

その娘

来訪者 1

来訪者 2 (1の友人)

石炭・化石館。

昭和10年頃の炭住の生活が等身大の人形の展示で再現されている。

娘「父ちゃん、はい、弁当」

坑夫「おう。せつこ、ありがとな。じゃ、行って来っから」

娘「がんばってね」

妻「あんた、怪我しないようにね」

坑夫「ああ。大丈夫だ。気をつけてやって来っから」

誰もいない展示室で、等身大人形はこの再現を2度繰り返す。来訪者1と2が来る。

1と2、しばらく見ている。

すると、また、再現される。

4度目が再生されたところで、来訪者2が去る。1も後を追う。

誰もいなくなった展示室で、また、再現される。

クビナガリュウが宙に浮いて展示されているスペース。

来訪者1と2が来て、それを見ている。

来訪者2「フタバサウルス・スズキイ。中生代白亜紀8500年前」

来訪者1「あ、クビナガリュウのこと」

来訪者2は、そのスペースの壁から、床を走る線をたどっている。その線はその反対側の壁まで続いている。それは35億年前から現在までを表している。

来訪者2「え」

来訪者1「どうしたの」

来訪者2「あ。いや、なんか。これだけかと思って」

来訪者1「なにが」

来訪者2「人類の歴史。これだけよ、これだけ、この線の間」

来訪者1「へー」

来訪者2「あれが46億年前だって。」

来訪者1「どこが」

来訪者2「あっちの壁」

来訪者1「ああ」

来訪者1、線をたどり46億年前にたどり着く。

来訪者1「あ、ここね」

来訪者2「そこそこ。そこが地球誕生」

来訪者1、そこに書かれた説明を読む。

来訪者1「生命に溢れた星、地球は太陽系の一つの惑星として今から約46億年前に誕生しました。太陽からの距離や大きさなど、いくつもの奇跡的条件を満たし生命が誕生したのはその10億年後の35億年ほど前です。さらに私たちが生物であるとわかるような生物が現れたのは、約6億年前になってからです。地球誕生から生物の出現にいたるまでは、いかに長い時間が必要であったかがわかります」

来訪者2「いや、それにしてもさ、人類、短くない」

来訪者1「って言うか、人類誕生以前が長すぎでしょ」

来訪者2「う。」

来訪者1「どした」

来訪者2「息が詰まる。あまりの途方もなさに。サハラ砂漠の砂粒みたいな人類に」

来訪者1「なるほど。そうね」

来訪者2「さっきの炭坑の生活も、ここじゃ、1ミリにも満たないわ」

来訪者1「え」

来訪者2「だって、あれなんか、これっぽっちの昔でしかないってことでしょ」

来訪者1「まあ、その線に合わせて考えればそうだけど」

来訪者2「なんか、私、逆に勇気が湧いて来た」

来訪者1「なんでよ」

来訪者2「スティーブ・ジョブズとかグーグルとか、なんでも来いって感じになった」

来訪者1「よくわかんない」

二人、線の中央付近に集まる。

来訪者1「これがクビナガリュウの時代だって。この赤の線」

来訪者2「どこからどこまで？」

来訪者1「ここからここまで」

来訪者1と2、その距離の間に立つ。

来訪者2「わあ。クビナガリュウすごいね」

二人、クビナガリュウを見上げる。

来訪者2「生命が誕生したのが」

来訪者1「ここ、35億年前」

来訪者2「じゃ、その前ってなんなの」

来訪者1「え、なんなのって」

来訪者2「生命がないって、どういうこと」

来訪者1「結構あるよ。その時代」

来訪者2「わ。どうしよ」

来訪者1「なに」

来訪者2「言っではいけないこと言うよ」

来訪者1「なにになに」

来訪者2「この46億の先はなんなの」

来訪者1「ああ。地球誕生の前ってこと」

来訪者2「そう」

来訪者1「それは、宇宙ってことかな」

来訪者2「なんで」

来訪者1「なんか」

来訪者2「そこには時間という概念はあるの、ないの」

来訪者1「ああ、もう、やめて」

来訪者2「ちょっとあんた、今度はあっち行って来なさいよ」

来訪者1「え、現在のほうへ？」

来訪者2「そうそう」

来訪者 1、現在へ行く。現在に着く。

来訪者 1 「おーい」

来訪者 2 「おーい」

来訪者 1 「地球誕生から見た私はどう」

来訪者 2 「ま、普通だけど。あなたから見た地球誕生はどう」

来訪者 1 「うーん。どうかな」

来訪者 2 が笑うので。

来訪者 1 「え、なんだよ。せっかく現在まで来てあげたのに」

来訪者 2 「いや、私さ、さっき声がダメな男は嫌って言ったでしょ」

来訪者 1 「うん」

来訪者 2 「ってことはさ、その人類のそこはさ、全体として、なんて言うか、声のいい、竹野内豊みたいないい男って気がする」

来訪者 1 「なんじゃそれ」

来訪者 2 「いや、われながらバカバカしい発想だけど。的はずしてない」

来訪者 1 「え、これ？これだけ。いい男って」

来訪者 2 「そうそう」

来訪者 1 「つまり、ここからここまでが竹野内豊ってこと」

来訪者 2 「いや、そんなのおかしいでしょ」

来訪者 1 「ま、でも、ここがいい男なんでしょ」

来訪者 2 「そうだけど」

来訪者 1 「じゃ、ここ以外はなに？有史以前の暗黒の時代？」

来訪者 2 「そうね。いい男がいなくてことだから」

やがて、また、クビナガリュウを見上げて。

来訪者 1 「ね、これって、オス、メス、どっち？」

来訪者 2 「さー」